


## 園だより 12月

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。

その名はインマヌエルと呼ばれる。」

マタイによる福音書 1章 23節




朝のご挨拶の時、子どもたちと繋ぐ手の冷たさであったり、お土産に貰う紅葉した葉っぱや木の実にぐっと秋の深まりを感じた11月でした。それでも朝の冷え込みとは正反対に、日中の園庭は日差しも強く、まだまだ水遊びも楽しめる秋日和が続きました。先月、「いつ行くの～」との声があった、年少組・年中組仲良しの「秋の実りひろい」にも出かけることができ、十分に楽しみました。

そのように天候に恵まれたひと月、虹の会の皆様、江東コミュニティー、江東ワイズ、白木蓮の方々のご協力により、昨年度より少し大きなバザーが開かれました。子どもたちもお買い物を楽しみ、嬉しいひとときとなりました。少しずつですがコロナ対応をしつつも行えることが増えていることは本当にありがたく感謝です。

今年度は年長組手づくりのお味噌を使った恒例のスープパーティーにも変化がありました。コロナ禍前には、園庭にテーブルを出し、全園児・先生たちで揃ってのスープパーティーが開かれていました。けれども、コロナ禍に入ってから、パーティーは開かれていましたが、密になることを避け、スープは各お部屋で頂くなど、工夫しながら行い、全園児揃って頂くことは控えていました。でも今年度は久しぶりに園庭にテーブルを出し、全園児・先生たち揃って年長組手づくりのスープを皆で頂くことにしました。年長組の子どもたちはスープ作りのため、前日は野菜を切ることや開催のお誘い、当日には味付け、テーブルセッティング、年少組・年中組の子どもたちのエスコート等々、全てを担い皆で考え進めていました。きっとたくさんのお話し合いのときが持たれたことでしょう。幼稚園生活の年月で積み重ねられ育まれた年長児の今のときだからこその子どもたちの姿、感じられる豊かな成長に感動で胸が熱くなった私でした。

繰り返されるひたむきな幼稚園生活の毎日、そこで育まれる恵みに溢れた子どもたちの生きる力。一人ひとりの心持ちが織りなされるそのかけがえのないとき。子どもたちの計り知れない心の動き、想いの深まり、そこからの様々な表現。想像を超える成長が成されています。それはどの学年の子どもたちもです。

12月、クリスマスを迎える喜びのひと月。子どもたちのより豊かに膨らむ温かな心を大切に過ごす嬉しいひと月。保護者の皆様と共に喜び迎えますこと、感謝いたします。



園長 駿河 幸子

